

UCDAアワード2020（医療保険のパンフレット部門）において
「UCDAアワード2020」を受賞

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、このたび、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会が主催する「UCDAアワード2020」の「生活・保障」カテゴリ「医療保険のパンフレット」部門において、「UCDAアワード2020」を受賞しました。

これは、当社の医療保険「認知症ケア MCI プラス」のコンセプトパンフレットにおける「商品特性や顧客層にあわせたわかりやすい表現」や「文字サイズや色味の工夫により、読みやすく内容が理解しやすい点」等が、高く評価されたものです。

当社は、今後とも、「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」という企業ビジョンのもと、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスとともにお客さまにとってわかりやすい募集資料を提供し、「確かな安心を、いつまでも」お届けできるよう努めてまいります。

1. UCDAアワードについて

「UCDAアワード」は、企業・団体・行政が生活者に発信するさまざまな情報媒体を、産業・学術・生活者の集合知により開発した基準を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。



2. 評価対象物

医療保険「認知症ケア MCI プラス」（5年ごと配当付終身医療保険（解約返戻金抑制型）[Ⅱ型]）のコンセプトパンフレット

3. 受賞理由

- ・コンテンツごとに色味を変えることで、視覚的にも違いを理解しやすい構成
- ・商品特性に合わせてシニア世代に向けた表現の工夫が多く、読みやすい
- ・本文に対し見出しの文字サイズが大きく、重要なポイントが伝わりやすい

4. 「認知症ケア MCI プラス」コンセプトパンフレットの主な内容について

- ・ 複数の保障内容をわかりやすく説明するため、保障内容（認知症、入院等）ごとに説明可能となるようページを構成
- ・ 保障内容やコンテンツごとに色味を変え、見やすさを工夫

認知症の保障

認知症の原因は「病気などによる脳の障害」です。
「生活習慣病」と大きく関連します

ご家族のため、認知症を予防しながら、しっかり備える
そして、ご自身のため、入院等にもしっかり備える

認知症ケア MCI プラス

は、一生涯の医療保障もご準備いただけます

- 1 認知症への進行予防に取り組んでいただくためのMCI保障をご準備いただけます
- 2 安心して介護を受けていただくための認知症保障をご準備いただけます

認知症の予防・早期発見に取り組んでいただくために「MY暮らしレポート 認知症ケア版」もご提供します

- 3 日帰り入院からまとまった一時金をお受け取りいただけます
- 4 入院・外来での手術や放射線治療、先進医療の保障もご準備いただけます

～充実の保障・サービス・アフターフォローでセカンドライフ世代の健活を応援します～

みん生の健活サービス

入院等の保障

セカンドライフでは、認知症への備えとともに、
一生にわたる入院等への備えも重要です

- ・ ポイントを大きな文字サイズでページ上部に集約。見出しだけで伝わるように工夫
- ・ イラストや具体例を活用し、シニア世代にもわかりやすい表現を志向

認知症の原因は「病気などによる脳の障害」です。 「生活習慣病」と大きく関連します

- 認知症はさまざまな原因で起こる脳の障害で、日常生活や社会活動に支障が生じている状態です
- アルツハイマー型認知症と血管性認知症は、糖尿病や高血圧などの生活習慣病との関連性が高いといわれています

認知症発症のメカニズム

さまざまな原因で、神経細胞が死滅・働きが悪化

↓

記憶障害や判断力の低下が発生

↓

認知症 日常生活や社会活動に支障

4大認知症

アルツハイマー型認知症 7.6%

血管性認知症 19.8%

混合型認知症 67.6%

レビー小体病 1.0%

その他 4.3%

※アルツハイマー型認知症は、脳内における異常なタンパク質の蓄積が主な原因とされています。

※血管性認知症は、脳血管障害による脳の障害が原因とされています。

※混合型認知症は、アルツハイマー型認知症と血管性認知症の両方の特徴がみられる状態とされています。

認知症に関連する記事内容 (P.03～08) は、東京医科大学 高齢総合医学分野 兼任教授 羽生春天先生の監修を受けています

認知症ではさまざまな症状があらわれます。 認知症は老化による「もの忘れ」とは違います

- 多くの人に共通する「中核症状」と、個人の性格や生活環境、人間関係などによりあらわれる「行動・心理症状 (BPSD)」があります
- 老化による「もの忘れ」は、脳の自然な機能低下で認知症ではありません

認知症の症状

中核症状

記憶障害 実行機能低下 見当識障害

行動・心理症状 (BPSD)

徘徊 暴言・暴力 妄想・幻覚

もの忘れにおける「老化」と「認知症」との違い

老化によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
原因	脳の老化
日常生活	支障をきたさず
症状の進行	しない
記憶	体験した一部を忘れる
自覚	忘れたことを自覚している

以上